

「勇気づけのピアノレッスン」

No.7

＝「音楽の楽しさ」をどのように伝えるか part2＝

『音楽の楽しさ』の伝え方が分かりません。」という前回のご質問に、私が心がけていることついて、再び、お伝えしていきたいと思ひます。参考にできれば幸いです。

<リラックスした雰囲気作り>

まず一番先に心がけているのが「教室のリラックスした雰囲気作り」です。照明はもちろんのこと、インテリアにも気を遣い、明るい雰囲気の中で音楽が楽しめるようにしています。居心地の良い空間作りは、自分なりの無理のない範囲で良いと思ひます。ほんの少しの気配りが子どもの心を癒すこともあるかもしれません。そして何より、当然のことではありますが、いつも笑顔で子どもたちと接することを忘れないようにしています。

<自分で考える力をつける>

「楽しさ」を追求することはかきりに気を取られると、本質を見失うこともあるかもしれません。ゲーム的、娯楽的な要素を取り入れることも時には有効ですが、その前に抑えておきたいと思ひていることがあります。それは「わかった!」「できた!」と子どもが感じ取る機会を多くするということです。その機会が多くあればあるほど、喜びや嬉しさ、満足感に繋がると思ひます。例えば、以下のようなとても簡単な質問を子どもにしてみます。「この音符はなんという名前か知ってる?」知っている子どもは、得意げ

に答えます。それがその子の満足感になります。すぐに答えられない子どもももちろんいます。そんな子には、私はヒントを少しずつ出していきます。一回で答えられなくても良いのです。何回もヒントを出しながら、あくまでも子ども自身に考えさせます。ヒントをいくつか出し、本人が答えられるように誘導するのです。答えられないからといって叱る必要もなければ、ダメ出しをする必要もありません。できないことはむしろチャンスです。こちらが焦って答えを言わないこと。「教え(過ぎ)ないという教え方」は、子どもたちの考える力を養うことに繋がりますし、自分で答えを導き出せたという喜びや嬉しさを体験することにも繋がるのではないかと思ひます。

次回は「音楽の楽しさをどのように伝えるか」の part3 を書いてみたいと思ひます。

松井美香

音楽家・音楽指導者・教育カウンセラー・
勇気づけマスター・「藤沢勇気づけの会」代表

<Facebook><https://www.facebook.com/mika.matsui.94>
<ブログタイトル>
～子どもから学ぶ～
「勇気づけの親子コミュニケーション」
URL : <http://ameblo.jp/makeeachangewithlove/>

Web版もあるよ
バックナンバーが閲覧できる!
ウェブならではの情報が満載!

学研 おんがく通信

9月号

Gakken
(株)学研パブリッシング 音楽出版事業室
〒141-8412 東京都品川区西五反田2-11-8
Tel. 03-6431-1220

学研 おんがく.net <http://gakken-publishing.jp/ongaku/> 学研 電子ストア <http://ebook.gakken.jp/gstore/>

2014年8月25日

6月から新しい人が仕事に加わりました。だから、突然一番年下生活は終わりにになりました。社会人になって初めての後輩登場で緊張しています。よろしく、後輩(ゆ)さん! ちなみに(ゆ)さんはセミナー・レポートをしています。こちらもよろしくお祈りします!(お)

突然ですが...

*リコーダー=鳥のさえずり という意味

リコーダーのおはなし

去る7月15日、ヤマハ株式会社が新製品の記者発表を行いました。その製品は何かと言いますと、皆さまがたにもおなじみの「ソプラノリコーダー」と「ピアノカ」です。「ピアノカ」はなんと30年ぶり(!)のモデルチェンジ。軽量化と演奏用パイプの改良がポイント。「ソプラノリコーダー」は、東レ株式会社と共同開発した樹脂(バイオマス由来樹脂)を世界で初めて使用。これまでの樹脂製に比べて約20%の二酸化炭素を削減できる!という、環境に優しいリコーダーなのだそう。それと同時に木製のリコーダーに近い芯のある、まろやかな音色が実現、吹きやすさも向上したということです。2014年10月からお目見えます。その記者発表に伺った(く)は、リコーダー演奏に耳を傾けながら「そういえば、リコーダーってこんなに身近な楽器なのに、歴史を意外と知らないな」と思ったわけです。そこで早速調べてみました。

♪15世紀から16世紀

中世・ルネサンス期、リコーダーは声楽の伴奏や合奏、舞曲の演奏と盛んに用いられていました。16世紀になると教則本や理論書が書かれ、ますます普及していきます。

♪17世紀から18世紀

現在とほぼ同じ形に完成されたのがこの頃。幅広い層が演奏するようになり、数多くの作品が作曲されるようになりました。私たちがよく知っているヴィヴァルディ、J.S. バッハ、ヘンデル、テレマン(自分でもよく演奏したそうです)たちによる、高度な演奏技術が必要な芸術作品もこの時代に作られました。特に、バッハの「ブランデンブルク変奏曲」の第2番、第4番での活躍は有名ですね。

♪18世紀から19世紀末

この頃になると、オーケストラが大規模になり、笛は横吹きのフルートが中心の楽器に変わっていきます。そのような中、音量が小さく、音域も狭いリコーダーの存在は次第に忘れられていきます。

♪19世紀末から20世紀初

20世紀初頭、ヨーロッパで古楽器に対する関心が高まっていきます。そうした中、リコーダーを復興させる契機になったのが、イギリスのアーノルド・ドルメッチによるリコーダーの復元製作でした。彼は、1925年に音楽祭も開催。その後、ブリュッヘンらが奏法を研究し演奏するなどして、リコーダーは完全に復活します!

日本にリコーダーが伝わったのはいつだったのでしょうか? 話は1936年の第11回ベルリン・オリンピックにさかのぼります。ドイツはリコーダーをいち早く学校教育にとり入れていたこともあり、オリンピックの祭典では、打楽器などと一緒で大勢の子どもたちによるリコーダー演奏が行われました(鼓笛隊のイメージでしょうか)。それをひとりの日本人が観客としてきていました。ドイツに留学していた坂本良隆です(のちに島根大学で指揮や作曲の教鞭をとりました)。坂本は演奏に大変感銘を受け、ソプラノ、アルト、テナーのリコーダーを日本に持ち帰り、日本管楽器株式会社(現在のヤマハ)に製造を依頼します。その当時は木製だったリコーダーですが、その後、簡易で大量生産が可能なプラスチック製のものが作り上げられ、学校教育に採用されるようになりました。(く)

「選曲がイイ!」と評判の『新選 ピアノ名曲 120』が CD付きポケット楽譜になりました!

CD付き ポケット判 新選 ピアノ名曲 120 (全6巻)

演奏: 金子恵 / 中川京子 / 磯島藍 / 加納裕生野 ほか 江崎光世(選曲協力)

小さなポケット判楽譜は、楽譜を図として認識できるので、閲覧用に最適です。さらに、持ち運びに便利! コンサートや講座、通勤・通学中の勉強に…さまざまな場面で活用いただけます。

■全6巻BOXセット: 本体価格 10,800円 (税別) ■各:B6変 / 80~84頁 / 本体価格 1,800円 (税別) / CD付き

セット予約特典
オリジナル CD収納BOX
CD 6枚を収納できます。

セット予約特典あり
全6巻BOXセット 同時発売! そのまま棚に入れば大判の楽譜と一緒に収納可能!

BOX: 194×138×54 / くらみ仕様

約0.6倍 かわいいハンディサイズ

9月上旬発売予定

編集部のつぶやいたー!

母が社員旅行でバリ島に行っています。ミネラルウォーターの代わりに、朝から晩までビールを呑んでいるよう。うーうらやましい。(の)

Tsubuyaitter..... follow me!

twitter [@gakken_music](https://twitter.com/gakken_music) 日々のよなしことや最新情報をツイートしています!

ピアノの森から

田丸信明先生のすてきなオリジナル曲をご紹介します

第4回

今回は早くもコーナータイトルから離れ、「びあのどリーむ」収録曲に寄り道してしまい、違和感を覚えられた読者の方々には申し訳ありません。田丸信明先生のすてきなオリジナル曲をご紹介しますコーナーということでお許しください。今回は田丸先生の最新曲をご紹介します! タイトルは「ふしぎな湖」。謎めいた湖のたたずまい、湖面のきらめきやさざなみを感じながら弾けますので、ピアノを弾く喜びも倍増です。今度改訂新版となる「ピアノの森」第4巻に収録されます。(か)

今月のあかね先生

楽しくおぼえる「おんぷ」のレッスンの
セミナーに行ってきました!

こんにちは!今回は担当者(ゆ)が、あかね先生の「おんぷ」のセミナーレポートをお届けします。
「おんぷ」のレッスンでは、「子どもたちの目線に立った教え方」が印象的でした。私たち大人が当たり前だと思っていることが、子どもにはできないもの。そんな子どもたちにとって、譜読みは大きな壁ですね。でも、あかね先生流の音符の覚え方には楽しく覚えられ工夫が盛りだくさんでした。
その中のひとつが、音符をせんとかんのグループに分けて覚えるという方法です。ドやミなど、五線譜の線上にある音は「せん」、レやファなど、線の間にある音は「かん」と呼んでいます。はじめにせんの音を覚えたら、次はかんの音。「そしれふあらのそ♪」、「そしれふあらのら♪」と何度も声に出すことで、楽しみながら自然に音符の位置を覚えることができます。
あかね先生のセミナーで音符を絵として認識するという考え方を知り、譜読みが苦手な私も抵抗感がなくなりました。楽譜を「読む」というよりも、「見る」ということがポイントですね。はじめてピアノを教わる子どもたちが、「見る」譜読みの方法からスタートできると、ピアノがもっと楽しく感じられますね。あかね先生の「ピアノの楽しさ」への近道をまたひとつ垣間見ることができました♪(ゆ)

今月のセミナースケジュール

- 9/10(水): [東京都/新宿]島村楽器 新宿 PePe 店 『子どもが飽きないリズムのレッスン〈導入編〉』
- 9/18(木): [宮城県/名取]島村楽器 イオンモール名取店 『ピアノ・テクニックのレッスン法 ~初歩からすてきな音をならしましょう~』
- 9/19(金): [宮城県/利府]島村楽器 イオンモール利府店 『ピアノ・テクニックのレッスン法 ~初歩からすてきな音をならしましょう~』
- 9/25(木): [高知県/高知]楽器堂 オーパス本店 『子どもが飽きないリズムのレッスン〈導入編〉』



Lento

大人のレッスン
Lesson.1



黒田篤志 くらだ・あつし

1973年生まれ。早稲田大学修士課程修了。日本アマチュアピアノコンクール7位入賞。出版社にて楽譜と書籍の編集を担当。現在小山市で、大人のピアノ教室“Lento レント”を主宰するかわら、フリーの編集者、ピアニストとして活動中。
<http://ameblo.jp/pianote0519/>

はじめまして。私は現在、栃木県小山市で大人のためのピアノ教室を開いています。教室の名前は『レント』。いろいろな意味で「ゆっくり」という想いを込めています。
アマチュアでもプロ並みの素晴らしい演奏をされる方が増えていく一方で、ピアノへの憧れは人一倍強いのに、「まったく弾いたことがない」「少ししかじただけ」「幼いころの厳しい練習がトラウマになっている」という方も、大人にはかなり多いように思います。ピアノをはじめの第一歩がなかなか踏み出せないのです。こうした大人のピアノ事情があるなか、勇気をもって第一歩を踏み出された方々が『レント』に通ってくださっているのですが、当初多かったみなさんの悩みは、「指が動かない」「楽譜が読めない」「ピアノを持っていない」でした。
実は、私はこれらの悩みに向き合からは向き合えないようにしていました。「指はそのうちうまく動きますよ」「楽譜はだんだん読めるようになりますから」「ピアノは欲しくなったら買ってください」といった具合。まるでペテン師ですね。しかしこれには、私なりの理由があります。

自分が気にしていることに触られると、誰でも緊張します。とくに大人になってからピアノをはじめられた方は、「もういい年齢だし練習の蓄積がないから指は動くはずない」「頭がよくないので楽譜は理解できない」「ピアノを習いに来たのに楽器を持ってなくて申し訳ない」などと、ただでさえ否定的な思い込みで陥りがちなのに、その辺に無粋に踏み込まれると無理に構えてしまいがち。そうすると緊張が生じ、ココロとカラダが硬直します。硬直はピアノの最大の敵ですよ。それだけならまだしも、「恥をかいてまでうまくなる必要があるのだろうか」と疑問を抱かれてしまうかもしれません。こうしたことをじっくり考えて、真面向勝負はやめたのでした。
大人のレッスンの場合、ご本人が気になさっているところには、直接踏み込まないことが大切です。そしてしばらくしてから、さりげなくそこに触れて次の方向性を探ることができれば、なおよいのではないのでしょうか。

黒田篤志

レッスンQ&A
回答してくださったのは
轟 千尋先生

Q. 即興演奏が苦手です。上手に弾く方法はありますか?

A. 即興演奏にはいろいろな種類があります。

- ◆通奏低音のように、和音を示す記号を頼りに、旋律に伴奏をつけていくもの
 - ◆ジャズのように、決められた構成や和声進行の中で、旋律を自由に羽ばたかせるもの
 - ◆現代音楽などで、作曲家独自の記号や図形楽譜から奏者がイメージした音を表現するもの
- など…

いずれも、楽譜に書かれていない音を『ある程度の制限の中』で、演奏します。

即興演奏がしてみたい、けれど何からやったらいいのかわからないという場合は、はじめにモチーフと簡単な枠を決めてみることをおすすめします。
例えば、モチーフを



和声進行を



と進行する8小節の枠を設定します。

この進行に沿って、ひとまとまりで、モチーフを弾いてみましょう。モチーフは、1回登場するだけでは意味がありません。2回、出来れば、3回めには短縮して変化をつけて、登場させてみましょう。

いきなり両手で弾くことが難しく思えるかもしれませんが、和声と一緒に響きを感じると、不思議とメロディがきこえてきます。左手は、和音の全音符でもいいので、和声の響きを聴きながらメロディを作ってみましょう。慣れてきたら、和音の種類を増やしたり、中間部を足して構成をふくらませたりして、徐々に広がりを持たせてみましょう。

構成なんて堅苦しい!という場合は、モチーフだけきちんと決めて、それを何度も登場させながら1分間弾き続ける、ということも楽しいものです。私自身この方法でよく遊んでいました。怖がらず、まず鍵盤で自由に遊んでみるのがいちばん大切です。

つむりの練習手帳

つむりはブルクミュラーで苦戦しています。この前は「優美」って曲を「元気いっぱい」に弾いていました。なんとかマルをもらって「狩り」っていう曲になったけど、毎回トクンされて涙目で帰ってきます。確かに聞いてると左手が大変なことになってます。ト音記号とヘ音記号を間違えてる……? (トホホお兄)

つむり現在の楽譜

- ☆こどものハノン④
- ☆プレ・インベンション
- ☆びあのだりーむ
- ブルクミュラー 25の練習曲
- ☆ル・クーペ
- ピアノのアルフアベット (ABC)

ごほうびシールノート(全7種) ■本体:各120円

新版おんがくドリル
レッスングッズセット
■本体:500円

シールノートは
ごほうびシールと
一緒に使えます!

ごほうびシール(全10種)
■本体:各80円 キラキラシール 本体:各180円

初めてのレッスンで使える
グッズを揃えました!

学研のかわいい
レッスングッズ

生徒さんのやる気を引き出す
レッスングッズを紹介します!

※価格はすべて税別表記です。

おんがくのーと(全12種) ■本体:各185円

月謝袋(全2種) ■本体:各40円

レッスンノート(全5種)
■本体:各200円 シール付き本体:220円

